

アンジェリーナ・ジョリーの選択

新聞やテレビで既にご承知でしょうが、ハリウッドの大女優が、まだ「未病」の段階で、乳房切除に踏み切ったニュース。

みなさんどう思われますか？

ついにそういう時代がきたか、というのが私の第一感でした。もうずいぶん以前20～30年前から、「未病」を考えると、行き着く先は「健康な臓器」摘出に至るだろう、と予測出来たからです。

ジョリーの選択にまつわる話題のなかで、みんなに気がつきにくいことがひとつあります。

ガンになる確率が高いのなら、臓器がまだ健康なうちに切除してしまおう、という医療は、裏を返せば、早期発見は無力だ、ということを告白しているようなものです。

「早期発見」して、その時点で手術などの治療を施して、間に合うのであれば、なにもまだ発症するかどうかわからない乳房を切除しなくてもいいじゃないの、が常識というものでしょう。

つまりアメリカでは、いくらガン検診して、乳ガンの早期発見につとめても、乳ガンの死亡率が一向に減らなかった、というデータが数十年前に既にでていて、それを医者も一般の人々も認めているのです。

だから、遺伝子検査の精度がある程度信用でき、形成外科的・美容整形的な乳房再建術が、かなり上手に乳房を再現できるようになってきた現在、ジョリーの選択が現実のものとなったのです。

早期発見のキャンペーンを官民一体で、強力に推し進め、早期発見すればなんとかなると成果を誇る日本の医療とはずいぶん異なる。

日本だけです。みなさんが、早期発見さえすれば何とかなる、と信じ込まされているのは。このへんの事情は、慶応病院の近藤誠先生の本などが沢山出ていますから、いちど読んでみて下さい。

考える材料は、「・・・」でくくったコトバにあります。「未病」「健康な臓器」「遺伝子検査」などです。この紙上でも、再三述べている事ばかりです。「未病」とは何か？「未病」という口あたりの好いコトバに私達は幻想をもち「未病ビ

ジネス」に欺されていないか？

次に考えたのは、ジョリーの選択は、勇気ある選択ではなかったか、ということです。こんな事例が私の身近にあったからです。

昭和20年代の後半、私の伯母にあたる女性が、女の子を二人産んで間もなく、乳ガンで亡くなりました。小さな女の子二人を残して妻に先立たれた叔父は、後妻をもらい仲良く二人を育てました。

その長女が結婚して男の子二人を育てている最中、母親と同じ乳ガンになり、亡くなりました。

その次女も成人して男の子一人を育てましたが、自死してしまいます。小さいとき母親に死なれ、継母とは上手く関係がつかれなかったようです。それに姉の早すぎる死、と無関係ではないでしょう。

そして間もなく、亡くなった長女の子供のうち、長男がこれも自死してしまいました。彼は中一のときに、母を病気に奪われ深いトラウマを負った上に、頼りにしていた母の妹まで喪ってしまった。生きる力を抜き取られてしまった、そんな感じです。

昭和20年代に、私の伯母が乳ガンで女兒二人を残して夭折したことは、悲しい物語として、それだけで完結していなかったことが判ります。

その女の子二人、そして孫の一人まで、悲しい不幸の連鎖に巻き込んでしまった、といえるでしょう。

ジョリーは、乳ガンになる確率が「遺伝子検査」で高かった。子供達に「病気に母親を奪われてしまう」体験をさせたくなかった。そうでしょう、そりゃ「有り」だな、勇気ある選択として認めよう、というわけです。

皆さんはどう考えていますか？

タイチーセンス 68

「推手～二人で行う太極拳」・・・2

前回、推手が太極拳学習において、欠くことのできない非常に重要な練習である事をお話ししました。では具体的にどの様な練習法があるのか説明して行きましょう。

推手の練習はお互い向かい合って立ち、手と手を触れ合った状態で動きます。片手で行う**単推手**、両手で行う**双推手**、その場で行う**定歩推手**、移動しながら行う**活歩推手**等色々な練習法があります。

単推手を例に挙げて説明すると、互いに手首を触れた状態から一方が推して来たら、一方は逆らわずに引き相手の力を吸収し逸らします。そして相手が戻ろうと引いたら、今度はこちらが推して行きます。推して来たら引くのですから互いに力がぶつかり合う事はありません。強く推そうとして逆らわずに吸収して行くので「糠に釘」で強く推す事は出来ません。力を逸らす時は孤を描いて滑らかに誘導するので、互いの手が円を描く様に動きます。

しかし、実際にやってみるとなかなかそうはいかないのです。推されるとつい力が入ってしまっって押し返してしまい、それによって相手も更に力を入れて推してしまふ。かわす時も横に手で払いのけるように不自然となり相手もつかかわされまいと抵抗してしまふ。こうなるともう互いに力んでしまい、速度は早くなり、動作はぎこちなくなってしまうのです。

一人で太極拳を練習しているときは、力まずゆっくり、なめらかに動けていたのに、互いに触れて動作してみると途端に出来ていたはずの事が出来なくなってしまう。しかもそれを自分自身が身体で実感するのです。一人で練習している時は自分自身では力を入れているつもりは無いのに力んでいると言われたり、自然に動いている筈なのにぎこちなく見えたりと、今一つ実感が持ちにくい事が、推手では一気に自分自身の身体に現れるのが嫌と言うほど分かるのです。

頭ではわかるけど身体では感じにくいと思っていた事が、嫌がおうにも身体で感じられる。それどころか出来ていると思っていた事すら、推手ではできなくなって愕然とするのです。一人で練習する套路は二人でやる推手の様に、二人で練習する推手は一人でやる套路の様に出来なくてはならないのです。

これが**推手と套路が太極拳の両輪**と言われる所以なのです。

—以下次号— 太極拳：奈良英治

- 邦楽練習室R-1、R-2、
火曜日を除く毎日、邦楽・ギターなどの練習室に使えます。
一時間 500 円です。
詳細は下記へお問い合わせください。

- 自彊術教室
毎週：水曜日の午前 11 時～12 時半です。
津田先生。一回 1000 円。
随時参加可能。

- 三味線教室：お琴教室
三味線・・・松永鉄六・・・毎週水曜日
お 琴・・・菊川 泉・・・毎週金曜日
初めての方も歓迎です。
お問い合わせは下記のメール又は医院ファックスへ。

- 寺子屋（漢方医学の古典を現代に読み解く講座）
毎月：第一火曜日：6 時半。
6 月 4 日：火曜日：6 時半 7 月は 2 日の火曜日です。

- 奈良太極拳：江口太極拳：下田ヨーガ：松本和ヨーガ、
などの日程は、ホールDOZにあります。
参加希望の方は、下記にメールしてください。

- ホールDOZ、一階の邦楽練習室：R-1、R-2、などの
使用・申し込み・などは、下記の専用メールで受け付けております。
yff00124@nifty.com (ワイ・エフ・エフ・ゼロ・ゼロ・イチ・ニイ・ヨン・
アットマーク・ニフティ・ドット・コム)